

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	埋蔵文化財整理室・収蔵施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	11	02	06
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	埋蔵文化財の整理作業を行う整理室、出土品を収蔵する収蔵庫	意図	埋蔵文化財の発掘調査の整理作業が円滑に進められるようにするため。出土遺物や記録類を整理・保管するため。
事業内容	埋蔵文化財整理室・収蔵庫を維持管理し、必要に応じて修繕し、整理作業員が円滑に作業が進められる環境をつくる。出土遺物を適正に収納し、また図面・写真等の適切な保管場所をつくる。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和56年度に旧職員寮が埋蔵文化財整理室とされ、昭和63年度にはプレハブ庁舎を移設して加整理室ができ、その後八木中→八木南小を加えて使用してきた。収蔵施設は、収納遺物の増加に伴いその都度増設し、現在市内に7棟が散在している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	埋蔵文化財整理室数	3	3	3		棟
②	埋蔵文化財収蔵庫数	7	7	7	棟	→→		
③	遺物収納コンテナ数	11,433	11,618	11,691	箱	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,548,800	3,815,591	3,860,490	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財整理室 流山北小学校整理室 八木整理室 ※児童増加により代替施設が必要。 収蔵庫7棟 (南流山3・古間木・高架下・八木南小・西深井小) 市内に散在 管理・使用上支障有 収蔵率が100%に近い。 ※代替施設・追加施設は、一括収蔵できる施設が必要。 			
事業費(b)(円)		1,116,300	1,130,791	1,223,690				
うち一般財源		1,116,300	1,130,791	1,223,690				
職員給与費(c)(円)		3,432,500	2,684,800	2,636,800				
人役・職員(人)		0.50	0.40	0.40				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市有施設の有効利用を踏まえ、常・仮設を問わず施設の確保に努める。	③取組における課題(Check)	恒久的な埋蔵文化財整理室・収蔵庫の確保。
②H30に実施した取組(Do)	移転候補地の調査は行ったが、実現できなかった。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	収蔵施設の集約化を検討するとともに、移転候補地の調査を継続する。